

きゃらきゃら本舗

ひ走
かっね
し

お笑い芸人と政治家は、
どちらも小学校5年生のときから
持っていた夢だった

お笑い芸人&
政治家必見!?

東国原英夫は
おもしろい!

東国原英夫の経歴

東国原英夫の経歴

宮崎県都城市出身の政治家、タレント、第17代宮崎県知事。

芸名「そのまんま東」。たけし軍団の一員でビートたけしの最初の弟子。俳優、作家としての活動していた。趣味はマラソン。

第17代宮崎県知事に就任後、宮崎県を第一に着実に仕事をこなしていた、政治家として実績をあげていたと評価される。知事退任後東京都知事選に出馬するも石原慎太郎氏に破れる。90万票の差があったが、1,690,669票集め2位であったのは宮崎県知事としての実績が評価されたものとも言える。



簡単に、たくさんの方が覚えられると
いった記憶術の本がいっぱい出ていますが、
僕はあんまり信用していません。

記憶するには、努力と反復練習しか
ありません。スポーツで
体を鍛えるのと同じ
ように脳も鍛えるもの
だと思っています。



自分の得意なものは一回で覚えたりしますが、覚えられないものはいつまでたっても覚えられないものです。だから行政のことでも関心や興味のある分野は簡単に頭に入りますが、なぜかなかなか覚えられないものもあります。覚えづらいなと思えば、他のことよりも倍のエネルギーと労力を使って理解しようとして努力しています。僕のモットーは、繰り返すことを恐れないことです。



人の話のポイントをつかむには、相手の話をじっくり聞いていれば自ずと二二が重要なポイントだなと

いうのがわかります。それができないのは、自分の努力が足りないか、もしくは相手が次意意的に二二の部分は隠してやろうという悪意から難解な表現で話を複雑にして、わかりづらくしていると考えた方がいいでしょう。役所の人間はときどきそういうことをします(笑)。



僕の場合、カネやオンナなど煩惱に対する欲望はすでに一回転してしまっただころがあります(笑)。いまはそういう欲を満たすこと自体が目的で生きていません。むしろ、いまの自分の原動力は、国を変えることとか地方の在り方を変えることにシフトして、そちらの方が大きな快感と思えるようになりました。



「命もいらず、名もいらず、官位も金も要らぬ人は、始末に困るものなり。この始末に困る人ならでは、艱難を共にして、国家の大業は成し得られぬなり」西郷隆盛が残した言葉です。名誉やカネなどにつられぬ人間は厄介だが、そういう人間でなくては国づくりのような大業は成しえないという事です。要するに欲のないやつが一番強いという事です。



走っていると

「死」を考えます。

極限まで走り抜き、

自分の哲学や

死に場所を探すのも

悪くありません。

人生の最後を感じるようになると、

残された人生でやりたいことの

優先順位が見えてきます。



社会とは、清廉潔白ではありません。
いろいろなものが
ゴチャゴチャと
混ぜり合った濁った
川のようなものです。
当然、誘惑も多い。
ですから、無理に我慢せず、そもそも
自分にとって本当に必要なものは何なのか、
そこから考えてみてはどうでしょう。



もし自分が弱いと考えるなら、一度失敗して学ぶのもひとつの道です。

失敗のたびに悪い方向に行っただけじゃありません。

ピンチは最大のチャンスです。これをプラスに生かさない手はありません。

失敗したとき、自分がどう動くのかに、その人の能力や人間性が表れます。



私は、いわば体で覚えて成長していく
タイプの方です。創造力の豊かな人は、
「これをやって失敗したら
こうなる」と予測して、
リスクを回避する
でしょうが、僕は
不器用で実際に
失敗しないと
わからないタイプです。



僕は、挫折をするたびに次なる飛躍への準備をする
ことができませんでした。1度目の謹慎では、小説「ピート
たけし殺人事件」を書いて、
のちにベストセラーとなりました。
2度目の謹慎中には早稲田大学
への受験勉強をしました。
中学生のレベルまで戻って一から
勉強したのです。地方自治や
マニフェストの勉強も、この不遇の時代
がなければしなかつたでしょう。



走れ！東

<http://p.booklog.jp/book/59723>

著者：きゃらきゃら本舗

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kodo341/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/59723>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/59723>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ